

1.評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	野生鳥獣・愛玩動物対策事業	担当課・係名	環境美化センター 環境係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	4
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	不明

## 2.事業の概要

目的 (何のために)	野生鳥獣や愛玩動物による生活被害を防止し、生活環境の保全を図るとともに、傷病野生鳥獣の捕獲・保護を行い、野生へ復帰させる。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小型有害鳥獣による生活被害への相談に対して現地調査を行い、小型有害鳥獣捕獲器の貸出しなどの防止対策を図る。</li> <li>○ 飼い主のいない猫による生活被害の防止と繁殖を抑制するため、飼い主のいない猫の不妊去勢手術に要する費用の一部を補助する。</li> <li>○ 危険害虫による生活被害を防止するため、危険害虫駆除に要する費用の一部を補助する。</li> <li>○ 傷病野生鳥獣の捕獲・保護を行い、野生へ復帰させる。</li> </ul>				
根拠法令・条例等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 動物の愛護及び管理に関する法律				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,004	1,692	1,684
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,004	1,692	1,684
	職員人数 (概算職員数)	人			0.43
	人件費計 (b)	千円			2,635
総事業費 (a)+(b)	千円	2,004	1,692	4,319	
事業費内訳	○ 有害鳥獣被害防止消耗品費 91千円      ○ 危険害虫駆除費補助金 300千円 ○ 有害鳥獣駆除手数料 455千円      ○ 傷病野生鳥獣保護交付金 350千円 ○ 有害鳥獣捕獲器購入費 168千円 ○ 飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金 320千円				
H 25 年度					

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 小型有害鳥獣捕獲許可件数	件	27	30	30
	② 傷病野生鳥獣の捕獲・保護件数	件	567	621	600
活動指標 (活動量)	① 小型有害鳥獣捕獲器貸出し件数	件	27	30	30
	② 傷病野生鳥獣の治療件数	件	567	621	600
成果指標 (達成度等)	① 小型有害鳥獣捕獲・駆除件数	件	30	37	35
	② 野生への復帰件数	件	212	261	300

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	生活環境の保全という観点から妥当である。 動物愛護という観点から妥当である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	有害鳥獣駆除については、駆除業者へ委託する手法も考えられる。 傷病野生鳥獣の保護については、専門の獣医師に依頼しているので妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	有害鳥獣による生活被害の防止が図られている。 保護した約4割の傷病野生鳥獣を自然に復帰させている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	限られた予算の中で有害鳥獣による生活被害の防止が図れている。 指定獣医師に交付している交付金の中で実施している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	有害鳥獣の生息数が増加している。 傷病野生鳥獣の発生件数が増加している。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 有害鳥獣による生活被害の防止、また、鳥獣愛護の観点から鳥獣の保護に寄与している。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

<b>① 改革・改善への取り組み</b> 傷病野生鳥獣対策については、町指定獣医師のみでなく町内開業獣医師の協力が得られれば、傷病鳥獣の生存率の向上を図ることも可能である。
<b>② 平成26年度に着手する事項</b> 特になし
<b>③ その他（課題、調整事項等）</b> 有害鳥獣対策については、今後、生活被害の件数の増加が予想されるので、駆除に対する費用の一部を負担してもらうことで歳出削減を図ることができる。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

生活被害を防止するため、増加傾向にある有害鳥獣駆除や、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の助成を行っていく。また、野生傷病鳥獣の捕獲・保護を行い、野生復帰率の向上に努めていく。
--